

○神学部(当時、神学科)の尊敬する野村かつ子氏のインタビューが素晴らしく、ご高齢にもかかわらず、まさに「終わりなき闘い」に挑戦しておられる姿に教えられました。また、東京で交わりをいただいた越川弘英氏のチャペルアワー奨励を読ませていただき、JRR列車事故の悲しい出来事に、キリスト教精神でどう向き合うかを教えられました。

同志社小学校の開校に向けての座談会は、よい内容でした。「同志社時報」の一層の発展と強化を祈ります。

(東京都・小笠成美)

○卒業以来、産業界に永く身を置いて、主に「人と組織」をテーマに業務や勉強を進めてきました。最近、特に痛感することは、人材の育成です。本当の人材、総合的な人間力を備えた人材が必要です。その意味で、「良心を備えた人物」と「プロジェクト主義による人材育成」が社会のテーマになりつつあると思います。同志社が求めている人物像は、実は

今の社会が求めている人物像でもありません。「同志社時報」もその役割の一端を担っており、大いに期待したいと思えます。

(群馬県・荻野千槍)

○前号「TOPICS」の尾崎教授の「リンダー・ハベル著作集」の紹介を嬉しく拝読した。限られたスペースで、ハベル(林秋石)先生の略歴と功績が、愛情をこめて語られている。私は同志社の卒業生ではないが、大阪で先生の英詩を受講する機会に恵まれた。しかも自宅が京都だったので、よく河原町のカレー店でご馳走になり、教室では得られない先生のすばらしい人格にじかに触れることができた。

その裏に、先生と同志社の方々とのおつきあいのつながりがあった事を知り、改めて貴学への敬意を深めている。

(大阪府・萩原大朔)

○121号の「同志社人物誌」、河野仁昭氏の「京都の近代化を導いた会津人・山本覚馬」は、一番興味を引かれた読物でした。

私は戦中派なのですが、10月20日に同窓会を寒梅館でもちました。80の集いで

す。京都が戦災を免れた幸運を思い起こしつつ、母校と『時報』の発展を期待しています。

(奈良県・天竹薫信)

○大学の卒業生ですが、長男が同志社高校1年、長女が同志社中学1年と家族揃って同志社にご縁があり、嬉しい限りでございます。前号も先生方が執筆されている内容といい、その他各学校の情報等が分かり易く、とても興味深く拝見いたしました。また、表紙も心ひかれる美しい彰栄館で、何度も眺め入りました。今後の発行を楽しみにしています。

(大阪府・小川佳秀)

○この春には同志社小学校が開校することもあり、121号の特集座談会「いま、子ども(小学生)たちはどうなっているか」は、子どもについての実際的なご意見が興味深く、じっくりと読ませていただきます。同志社諸学校の活動が「REPORT」にまとめられ、また楽しく読んでいます。私は年も加わって、近いうちに東京支部長を代わってもらいたいと思っておりますが、『時報』は愛読し続けたいと思っております。(東京都・渡辺妙子)

※敬称略

お知らせ

第29回Neesima Room企画展

躍動する同志社—京田辺開校20年—

今回の企画展では、この20年間の同志社大学発展の諸側面を写真パネルと各種の資料で展示、紹介いたします。躍進と伝統が調和する近年の同志社大学の躍動を感じ取っていただければ幸いです。



竣工当時のラーネッド記念図書館(1986年)

〈期間〉2006年4月1日(土)～8月31日(木)

〈時間〉10:00～17:00(土・日曜日は16:00まで)

〈会場〉Neesima Room

(同志社大学今出川キャンパス・ハリス理化学館2階)

〈閉室日〉祝日、4月29日～5月5日、8月14日～18日、8月の土・日曜日

〈入場料〉無料(事前申し込み不要)

〈お問い合わせ先〉同志社史資料センター Tel. 075-251-3042

E-mail: ji-shasi@mail.doshisha.ac.jp

『同志社時報』ご購入について

幅広く多くの方々に読んでいただくために、118号(2004年10月発行)から購読料が無料になりました。送料のみのご負担で定期購読いただけます。

●定期送付のお申し込みについて

新規・継続の定期送付のお申し込みを受け付けています。巻末はがき、電話、FAXまたはe-mailで広報課までご連絡ください。

10月、4月の年2回発行。送料(1冊につき切手200円)のみご負担ください。ご連絡をいただき次第、申込書を送付いたします。

●バックナンバーのお申し込みについて

広報課まで巻末はがき、電話、FAX、e-mailでご連絡ください。在庫の有無についてお知らせいたします。

●ご意見・ご感想をお聞かせください

皆様から親しまれる『同志社時報』にするために、ご意見・ご感想・企画案をお寄せください。巻末はがきをご利用いただいても結構です。ご意見・ご感想は、誌面に掲載させていただく場合があります(掲載させていただいた場合、記念品をお送ります)。

ご意見・ご感想・お問い合わせ・お申し込みは…

同志社大学広報課 同志社時報係

〒602-8580 京都市上京区今出川通丸東入

電話 075(251)3120 FAX 075(251)3080

e-mail: ji-koho@mail.doshisha.ac.jp